旭川市テレワーク導入奨励金による
テレワーク導入・実施事例集

（令和４年３月31 日追補）

旭川市経済部

旭川市テレワーク導入奨励金　実施事例

	業種	企業・団体名称	事業概要	ページ
1	建設業	株式会社アイ・ディー・エフ	特定建設業	1
2	建設業	合同会社Tecsel O・M・C	建設業	3
3	建設業	東海産業株式会社	土木工事業・建設資材販売業・砂利採取業	5
4	情報通信業	株式会社アーグ旭川サテライト	ウェブサイトの制作・ウェブシステムの開発・運営補助	7
5	情報通信業	株式会社アスタリスク	ホームページの制作・WEBサイト構築・WEBシステムの開発・ソフトウェアの開発・販売・企業向けサーバー・メールの管理	9
6	情報通信業	クウェスト合同会社	ウェブサイト制作、システム開発	11
7	情報通信業	コアルシード株式会社	電子計算機及びその付属機器並びに電子計算機用品の販売 情報処理・通信機器システム等の販売及び賃貸 ソフトウェアの開発及びその販売	13
8	情報通信業	株式会社まぐねっとコミュニケーション	ネットワーク保守管理、ソフトウェア開発、ネットワーク回線取扱	15
9	卸売・小売業	ベースライン	小売、WEB販売・運営、デザイン業務	17
10	卸売・小売業	ユー・システム株式会社	事務機器・教育機器の販売	19
11	金融業・保険業	株式会社旭川あんしんプランナー	保険代理業	21
12	金融業・保険業	株式会社NA Create	保険代理店	23
13	不動産業	株式会社クレア	不動産売買・賃貸・仲介・管理・開発・投資	25
14	専門サービス業	税理士法人薄井会計	税務相談・税務申告業務・記帳代行・経営分析・会計関連サービス・コンサルティング業務等	27
15	専門サービス業	税理士法人中央総合会計	税理士事務所	29
16	専門サービス業	株式会社ノヴェロ旭川支社	総合広告会社	31
17	生活関連サービス	SKYグループ株式会社	美容理容業	33
18	教育・学習支援業	ひだまりグルーミング	サービス業、教育相談	35
19	医療･福祉業	株式会社青山	介護事業	37
20	医療･福祉業	有限会社アメリカンハウス	介護事業・不動産事業	39
21	医療･福祉業	有限会社環境設備	介護事業、グループホーム等	41
22	医療･福祉業	有限会社ケア・ビジネスサービス	介護保険法に基づくデイサービス事業	43
23	医療･福祉業	医療法人恵心会（旭川老人保健施設ふれあい）	介護保険施設	45
24	医療･福祉業	Junto株式会社	障害福祉サービス	47
25	医療･福祉業	有限会社ドリームプラン	通所介護事業	49
26	医療･福祉業	有限会社FUTURE	介護事業　訪問介護事業等	51
27	サービス業	株式会社ノースグリーン	一般及び特定労働者派遣事業	53

株式会社アイ・ディー・エフ

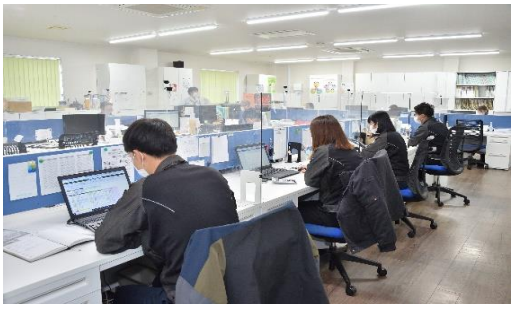
所在地：東鷹栖4線10号3-12
連絡先：0166-57-1831

業種・事業概要

特定建設業
・建築物・土木構造物の防水、改修工事
・スポーツ施設環境設備工事
・抗菌、抗ウィルスコーティング事業
・除雪排雪事業

従業員数

75名



資本金

20,000,000円

テレワーク導入の経緯・目的

【経緯】
当社には社員の個別事情や感染病濃厚接触等で自宅待機しなければならない場合、在宅勤務制度がなく、個別に対応していたので今回制度を設け策定しトライアルした。
【目的】
・社員の個別事情に対応した働き方対策
・災害対応や感染病蔓延防止への対応

テレワークの実施概要

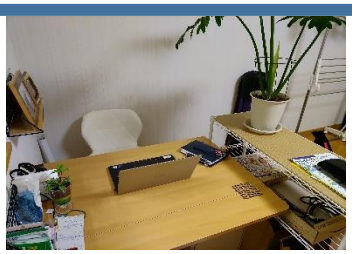
■実施期間　2021年10月
■利用実績　1名
■実施部門　経営企画人事部
■作業概要　主に広報宣伝コンテンツの制作（Webサイト、動画編集など）
関係業者との打合せ（電話）
■ICTツール　Microsoft 365、Adobe Creative Cloud、Zoom

■実施状況
会社との日常的なコミュニケーションはMicrosoft 365 TEAMSのチャット機能を活用。

実際に多岐にわたる細かな確認事項はチャット機能より、電話で集中的にコミュニケーションをとった方が、短時間で確実に意思疎通が図れる事も多く、内容により使い分けた。
今回日々の報告はテレワークを想定した業務報告フォーマットで実施したが、今後は通常使用している業務報告フォーマットがテレワークに対応できるように工夫できる。

テレワークに関する社員の声

●映像や画像編集、Web製作など一人籠って集中したい時にテレワークを活用したら作業効率があがりました。
●子供の看病のために在宅で付き添いながらテレワークが出来るようになると、休む事なく業務を継続できるようになり便利です。
●オフィスで起きている事がリアルタイムに知れる臨場感が感じられなくなる事には不安がある。
●オフィスワークが基本で、不測の事態に対応する受け皿と考えている



テレワーク環境

Microsoft365（TEAMS、他）活用

テレワークの成果

①会社が支援するV2リーグ「ヴォレアス北海道」ホームゲームで流す会社PR動画を完成させた。
②会社公式ホームページの改訂作業を取引業者と打ち合わせしながら、写真素材の提供や原稿の確認を行い作業を進行させた。
③実際に実施する事で、コミュニケーションや確認行為をいかに合理的に的確に進めることができるのかトライアルする事ができた。

テレワーク実施に当たっての課題

①クラウドに保管されている大容量データのハンドリングのレスポンスが悪く、作業スピードの低下に影響する事があり、保管方法の改善や持ち出し方法の検討余地がある
②Webミーティングツールはセミナーや社内会議で使用するが、テレワークスタッフとマンツーマンのコミュニケーションやミーティングでWebミーティングツールを使用する文化を定着させる事で、エンゲージメントの低下を抑制する

テレワークの今後の活用法、期待すること

●オフィスワークの臨場感にテレワークが勝る事は不可能と感じる。
●不測の事態（災害、個人の事情など）で通勤出来ない状況への対応、または隔離された環境で作業効率をあげたい等、目的が明確な時に積極的にテレワークを活用したい。
●最終的には職種によるが目的や成果を明確に示し、オフィスワークとテレワークを自由選択出来るような制度に取り組み、多様性をに寛容な働き方改革を進めたい。
●Webミーティングツールを多用するにあたり、離席中や取り込み中でダイレクトアクセスを避けたい時とそうできない時の切り替えをマメに行う事で、コンタクトしやすくする。
●内勤スタッフの在宅勤務だけでなく、将来は外勤営業のテレワーク化導入の可能性も考えられる。

(同)TecselO.M.C

所在地：旭川市忠和3条6丁目
連絡先：0166-56-3666

業種・事業概要

建築請負業

従業員数

3名

資本金

300万円

テレワーク導入の経緯・目的

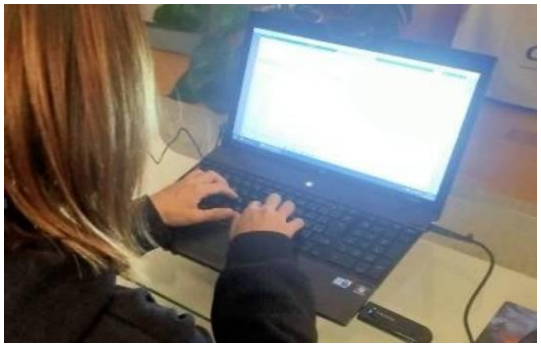
新型コロナウイルス感染症拡大を機に、非常事態でも事業が出来るようテレワークを導入。
ワークライフバランスの取り組みを整え柔軟な働き方が出来るよう実施。

テレワークの実施概要

■実施期間
令和3年10月12日～
■これまでの実績
コロナウイルス感染症の対策として、リスク軽減と非常事態に備えるため導入。
これからの働き方の多様性を考える上での実施。
■テレワークを実施した作業概要
事務作業、データ入力等
■使用したICTツール、費用
社員個人のノートパソコンを使用。
通信費、電気代等は個人が負担。

テレワークに関する社員の声

・通勤時間が無くなった分、時間の有効活用ができた。
・新型コロナウイルス感染症のことを気にせず仕事に取り組めた。
・書類の持ち出しなどに不安を感じたのでデータ化をする必要があると感じた。
・パソコンのスペックが古いので少々やりづらい面があったので、今後は会社で持ち出し出来るパソコンがあればいいと思いました。



テレワークの成果

・職場での３蜜を避け、感染予防することができた。
・これからの新しい働き方での事業形態を学べた。

テレワーク実施に当たっての課題

・テレワークの為の環境整備。
・貸与するノートパソコン等の購入が必要。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・今後また感染拡大した場合などに備えて柔軟な働き方が出来るように整えていきたい。
・新しい働き方としてどこにいても働けるIT化を進め活用していきたい。

東海産業株式会社

所在地：旭川市東3条6丁目1番36号
連絡先：0166-24-4111

業種・事業概要

土木工事業
建設資材販売業
砂利採取業

従業員数

78名

資本金

81,130千円

テレワーク導入の経緯・目的

当社では業務効率化、社員の働きやすい環境作りを進めております。
その中で、新型コロナウイルス感染拡大などの非常時への対応、さらには職員の働きやすい環境づくりにも効果を期待し、テレワーク導入を進めました。

テレワークの実施概要

■実施期間
令和3年9月21日～
■テレワーク実施期間
週1回のテレワーク勤務を実施しました。
■テレワークを実施した部門
・総務1名
■作業概要
会社にいなくても影響が少なく、効率的に行える業務を選定し、 テレワークを実施しました。
・社内ツールの作成
・会社案内動画の作成
・ホームページの作成
■使用したICTツール
会社貸し出しパソコン、社員の自宅インターネット環境を利用しました。
本社、支店との連絡にはMicrosoft Teamsのチャット機能を利用しました。
■工夫したこと
作業開始、終了の連絡などのルールを予め定め、そのルールに則って実施しました。

テレワークに関する社員の声

・コロナ感染リスクを負わずに安心して業務に取り組めました。
・テレワーク規則が整備され、安心して在宅勤務を行えました。
・通勤時間が無いため、時間に余裕が出来ました。
・会社のファイルサーバに保存されているデータを見れるようになれば、効率よく作業を行えると思いました。

テレワークの成果

・コロナ感染リスクを軽減することが出来ました。
・在宅勤務を行うことにより、働き方を見直すきっかけになりました。
・通勤時間が無くなり、時間を有効に使うことが出来ました。
・テレワークに使用するICTツールの検討を行うことで、ICTツールに対しての意識が高まりました。

テレワーク実施に当たっての課題

・自宅勤務について、職員によってはインターネット環境が無い場合もあり、在宅勤務用のモバイルルータを用意するなどの対策が必要と感じました。
・職員によっては業務時間とプライベートの切り替えがうまくいかないことが想定されると感じました。
・緊急対応や急な来客があった場合の対応を予め考えておく必要があると感じました。

テレワークの今後の活用法、期待すること

■今後の活用法
今後も継続してテレワークを行い、テレワークを行える業務の拡大や、それに伴う問題の改善を行っていきたいと思います。

■期待すること
コロナ対策としてテレワークの導入に力を入れようと考えておりましたが、実施したことで色々なメリットや今後への期待が持てると感じました。
メリットとして例えば「通勤時間が無くなり、その分時間にゆとりをもって仕事が出来た」や、今後、出産される方、親の介護をしなくてはならない方などについて、仕事を継続して行えるような働き易い環境の提供など、うまく取り入れることで会社、職員にとってお互い良い関係を築けると期待してます。

株式会社アーグ
旭川サテライト

所在地：旭川市宮下通3丁目2181-2-504
連絡先：0166-73-3747

業種・事業概要

ウェブサイトの制作
やウェブシステムの
開発、運営補助

従業員数

8名

資本金

100万円

テレワーク導入の経緯・目的

災害等の非常時や冬期の移動リスクを軽減し、
移動時間を節約して業務の効率化を進めるとともに
多様な働き方を可能とすること

テレワークの実施概要

■実施期間
2021年11月14日～
■これまでの利用人数等の実績
会社全体でテレワークでの勤務が出来るよう、これまで在宅勤務を行っていなかった社員4名を対象に実施
■テレワークを実施した作業概要
ECサイト運営、ウェブページ制作、システム開発業務
■使用したICTツール
・PC：会社貸与
・社内連絡用ツール：skype（チャット、電話、ミーティング）

テレワークに関する社員の声

・作業効率が落ちる懸念があったため、在宅勤務を選択していなかったが実施してみると、電話応対も無いため作業に集中でき、通常勤務時の移動時間の間に勤務を開始できることでプライベートでも自由になる時間が増えた
・一人暮らしのため、雑音や周りを気にせず業務に集中できた

社内

テレワーク

テレワークの成果

・会社全体でのテレワーク実施は可能
・今後も継続して実施する

テレワーク実施に当たっての課題

・社内での対応が必要な業務については今後も検討する
・互いの状況が不明なため、情報共有など頻繁な連携が必要

テレワークの今後の活用法、期待すること

・社員が勤務形態を自身で選択できることで、ワークライフバランスの向上が期待できる
・災害などの非常時に出社することなく、業務に支障が出ないように対応できる

㈱アスタリスク

旭川市8条通8丁目43番5号8条ビル2F
0166-24-5155

業種・事業概要

ホームページの作成・WEBサイト構築
WEBシステムの開発
ソフトウェアの開発・販売
企業向けサーバー・メールの管理

株式会社アスタリスク
Asterisk

従業員数

4名

資本金

600万円

テレワーク導入の経緯・目的

弊社では、数年前からテレワークと同様の働き方が存在しており、社内システムも自宅からのアクセスを考慮した環境を整備していたが、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、本格的に、非常時に事業継続が可能となるように就業規則を整備した。システムを強化、社内にいる時と同様の業務生産性の向上を目指して、導入を決めました。

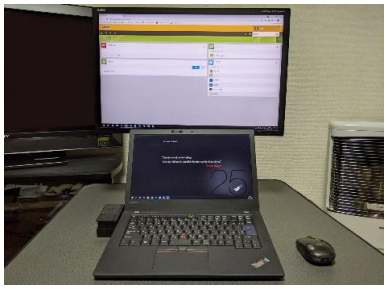
テレワークの実施概要

実施期間
令和3年11月7日～令和3年12月4日

■利用人数の実績
1名
テレワークを実施した部門、作業概要
開発部・・・WEBシステムの新規構築、顧客対応
■使用したICTツール、設置費用
ツール：サイボウズkintone（グループウェア）、Slack（チームコミュニケーションツール）
ハードウェア：社内データサーバー、WEB共有ドライブ、各クライアント用WEBテストサーバー
購入したもの：WEBカメラ×1台、ヘッドセット×1台、ディスプレイ×1台、モバイルディスプレイ×1台
■工夫したこと
限定した社員のみにセキュリティを強化して、自宅からのアクセス権限を付与、社内ネットワークに入り、社内共有サーバーで社内と同じようにデータの取り扱いをできるようにした。クラウド上では、クライアントと共有できる環境を構築し、グループウェアに関しては、WEBで確認ができる。

テレワークに関する社員の声

体調がすぐれない時や家庭の事情で自宅にいなければならない場合、時間を有効的に使え、出勤しなくてもいい、出勤の準備がないので負担が軽減され、時間的にゆとりが出てました。
更にクライアントの電話対応がないので、集中して制作に取り組めます。



自宅

社内

テレワークの成果

自宅でのテレワーク作業でも、会社との連絡や報告をリアルタイムで徹底して行う取り組みをし、テレワーク以外の社内で社員の作業もスムーズになります。

テレワークでは、電話・来客対応がないので集中的に行えるため、リモートもリアルも変わらない業務の速度を実現できました。

テレワーク実施に当たっての課題

テレワーク以外の社内にいる社員の電話対応、顧客からの問い合わせなどが負担とならないような分担を考えたいと思います。
テレワーク時の自己管理が重要で、適切に管理できるように作業内容を明確化し、テレワーク者以外の社内作業の生産性が下がらないように、密に連絡・報告を行う必要があります。

テレワークの今後の活用法、期待すること

テレワークを行っても、社内での業務スピードと変わらないまたは、社内よりも早い速度で業務を行う事ができれば、効率化でき、生産性が向上、場所にこだわらない働き方を定着させる事できます。

制作物の仕様の細かな点や考え方を打ち合わせするには、どうしても、対面となってしまうのが、今後の課題です。

全員テレワークの場合も想定した環境の準備は整っているので、慣れれば定期的に行い、新しい社員の受け入れもテレワークを可能とすることで、人員を確保したいと期待しています。

クウェスト合同会社

所在地：旭川市宮下通7丁目3897
連絡先：0166-74-7023

業種・事業概要

WEBサイト制作、WEBシステムの開発などIT事業。
企業様、官公庁、LPサイトなど、数多くのウェブサイト制作を手がけてきました。その他サイネージ広告映像の制作、チャットボットやRPAなどAI等のWEB系開発も行っています。

従業員数

5名（R4.1.10現在）

資本金

100万円

テレワーク導入の経緯・目的

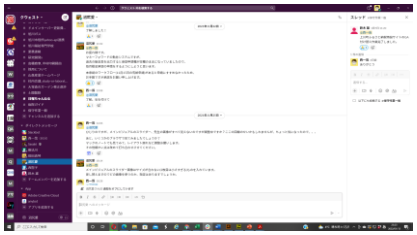
弊社ではここ数年、遠隔地域との商談やプロジェクトの推進においてWEBカメラやチャットツールなどを利用しての営業が日常的なものとなっていたところ、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言、またそれによる社会環境の変化により、会社として従業員衛生環境、そして労働環境の見直しを図った。
その他、今後は家事・子育て・介護と仕事の両立を望む社員のためのワークライフバランスをとっていくことで、既存社員、または優秀な社員の獲得に資すると考えたため、これを機にテレワークを取り入れることにした。

テレワークの実施概要

■実施期間
令和3年10月17日～令和3年11月13日
■これまでの実績
各チーム、最低1人以上が1週間取り組むこととした。これまでも遠隔地との協業においてツールの利用には慣れている土壌があったので、そのうえで業務負担の均等化やルールの策定をしたうえで実施した。
これまでに2名の社員が実施しており、今後は全員、また2週間ほど連続での在宅勤務も実施予定。
■テレワークを実施した部門、作業概要
事前に実施によるデメリットや不安を把握することができなかったこともあり、営業・制作チーム、開発チームのうち、それぞれ誰かが会社に出社することで、導入のハードルを下げることにした。
打ち合せ、顧客の問い合わせ対応等を行う在宅勤務の他、外勤職員がタブレット端末を携行し、取引先訪問時にWEB会議で内勤職員と繋ぎ、サービスの説明を行ったり、現場の確認を行ったりするなど在宅勤務以外のテレワークも実施している。
■使用したICTツール、設置費用
サブスク型のクラウドの勤怠・業務管理ツールを導入し労務管理を行い、テレカン用機材・ソフトウェア、チャットツールは有償のモノを継続利用している。その他会社支給の携帯電話を1台購入した。
■工夫したこと
テレワーク実施のための労務規定が存在しなかったため、社労士と連携をとりながら自社独自の規程を作成し、サーバー上で誰もがいつでも見れるように配置した。また、テレワークを実施する心得やスケジュール、可能な業務内容について定例ミーティングの中で照査している。

テレワークに関する社員の声

・実際の体調不良の時なども会社まで行くことなく自宅で作業を行えたのでよかった。
・家族との時間が多く持てて、普段よりもゆとりがあった。
・家庭でのデスクや椅子、パソコンスペックなど業務環境が整ってなく、困ったこともあった。
・仕事のオン・オフの切替えが難しい。
・電車通勤しているので、往復2時間の時間の節約ができた。
・在宅勤務している他の社員の進捗がいま一つ見えず、不満がたまった。
・自宅ではなくサテライトでの作業もしてみたい。
・対外的な作業が減って制作作業に集中できた。



テレワークの成果

・コロナの感染拡大に対し、雇用調整が不要であった。
・これまで対外用であったツールを内部で利用することにより、働き方の多様化が進んだ。
・出社時、日常のコミュニケーションの取り方がテレワークに影響すると判明。テレワーク時に限らず、コミュニケーションの質を上げるきっかけになった。
・業務報告を詳細にすることになり、報告文書の粒度が上がった。
・自らITツールを駆使する必要に駆られたことで、副次的にIT業としての経験値やお客様への説得性が高まった。

テレワーク実施に当たっての課題

・在宅勤務時の様子を的確に把握することができなかった。労務管理が難しく煩雑。
・在宅勤務社員と出社している社員の間で、両者出社しているときにはとれるちょっとしたコミュニケーションが取れないことが散見された。
・カメラや音声の常時接続に対してはプライバシーの観点から快く思わない社員が多かった。
・来客や電話対応、営業、経理事務などは出社が前提になっていることもあり、社員間での不公平感が出ることもあった。
・顧客の理解、または周知に温度差があり、業務上迷惑をかけることもあった。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・コアタイムの導入など管理系の課題はあるものの、より柔軟な働き方を模索したい。
・いつでも・どこでも・誰とでも働ける働き方に習熟することで社員のフットワークが軽くなり、他部門や他社との連携が進むよう活用したい。
・成果主義に偏りがちになるが、多様な働き方の中で適正な人事評価を確立していきたい。
・在宅勤務制度などワーク・ライフ・バランスに配慮した企業として優秀な人材の確保につなげたい。
・非常事態が発生しても在宅勤務で事業継続が可能となることから、事業の継続性をはかりたい。
・誰でも円滑にテレワークを実施できるツールの導入を検討したい。
・テレワーク自体のPDCAが必要と感じるので、メリットデメリットを常に社員全員の共通認識としてさらに質の高いテレワークを目指したい。
・ARやAIの深化によって、今後一層の仮想空間での業務が増えることが予想されるので、本業へのフィードバックも期待しつつ継続していきたい。

コアルシード株式会社

所在地：旭川市緑が丘東1条3丁
目連絡先：0166-56-2235

業種・事業概要

・電子計算機及びその付属機器並びに電子計算機用品の販売
・情報処理・通信機器システム等の販売及び賃貸
・ソフトウェアの開発及びその販売

従業員数

3名

資本金

200万円

テレワーク導入の経緯・目的

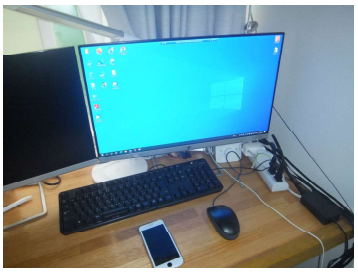
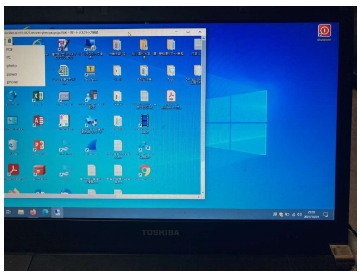
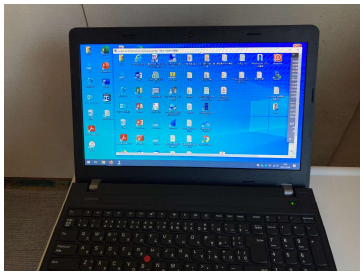
基幹病院の委託業者の為、新型コロナウィルスの感染拡大の防止対応も徹底して行ってきました。
従業員の時差出勤・早期退社・有給、会社に出勤せず得意先への直行・直帰等にて対応しました。
原則来訪者禁止、20時以降の外出禁止、他病院訪問後のPCR検査実施、二酸化炭素濃度測定器を設置しての換気。
ほっかいどう出勤者削減官民共同メッセージにより、出勤者数削減に取り組むとともに、
さらなる感染防止の為、テレワークを検討しました。

テレワークの実施概要

■実施期間
　令和3年10月1日～
■これまでの実績
　実施にあたり、就業規則・テレワーク就業規則の変更、作成。
　総務省が公開するテレワークセキュリティガイドラインの確認。
　従業員のテレワーク実施の説明、執務状況の確認。
■テレワークを実施した部門、作業概要
　事務職は、日々のメール確認、出退勤管理、給与計算、業務開始・終了の報告、業務日報作成等
　技術職は、日々のメール確認、得意先のリモートサポート、操作手順書作成、業務開始・終了の報告、業務日報作成
■使用したICTツール、設置費用
　NTT東日本・IPA シン・テレワークシステムを使用して、リモートでの作業を行った。
　テレワークを行う為、ホームルータ　5000円/月額を購入。
■工夫したこと。
　リモート操作にあたって、システムの選定。
　自宅ノートパソコンの場合、外付けモニターの貸出。

テレワークに関する社員の声

・NTT東日本・IPA シン・テレワークシステムが思ったより、スムーズに動作でき問題なく仕事ができました。
・得意先病院での作業業務において、コロナ感染が心配でしたがテレワークによって少しですが、安心できました。
・テレワーク(在宅中)は、自分スケジュールで仕事ができ、パソコンでの仕事にも集中することができました。
・必要な紙資料が,会社にあり作業が中断することがありました。事前準備、仕事の改善が必要と思いました。

テレワークの成果

・時差出社・早期退社・有給にて、コロナ感染拡大防止に対応してきましたが、テレワーク(在宅勤務)により、業務に支障なくなりました。
・毎日の得意先への業務において、人との接触も多く、いつ感染するかと心配でした。
またコロナ感染対応のストレスも心配でした。
テレワークによって、従業員の感染に対するストレス等の負担が少しでも軽減できたかと思います。
・NTT東日本・IPA シン・テレワークシステムによって、データを持ち出すことなく、自宅にて業務ができました。

テレワーク実施に当たっての課題

・旭川市基幹病院での作業が多く、1日/週程度のテレワークになりました。
また従業員交代で時間を調整して出社6時間在宅1時間となった場合もあります。
・事務業務において、見積書・納品書・請求書の押印が必要な為、出社が必要、
また経理については、伝票との確認の為、完全なテレワークにはなりませんでした。
・商品の入荷、商品の修理も出社しなければ対応できない場合もありました。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・新型コロナ収束は、まだ未定なのでこれからも状況に応じてテレワークを実施したいと思います。
・出勤者を減らす為、また人との接触を減らす為には、テレワークは必要だと考えてます。
他の事業所も出来るとこから始めてほしいです。
・現在、NTT東日本・IPAテレワークシステムを使用していますが、2022年3月末まで継続して使用できる予定。今後も無期限で継続して使用可能にして頂きたいです。
・コロナ感染防止以外で、高齢化も進み、介護しながら在宅勤務、育児しながら在宅勤務、高齢者・障害者の在宅勤務といろんなところで活用されることを期待します。

㈱まぐねっとコミュニケーション

所在地：旭川市永山北2条10丁目2-11
連絡先：0166-56-5535

業種・事業概要

医療ソフトウェア開発
インターネット回線取次業務
ネットワークアドバイザー

従業員数

3名

資本金

100,000円

テレワーク導入の経緯・目的

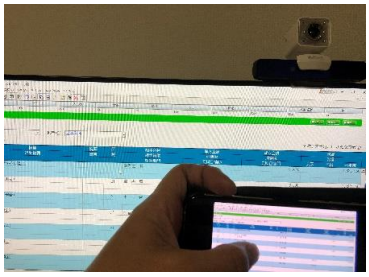
今回のコロナウィルス感染拡大を機にできる限りの非対面で行える業務取り組むことを考え実施。
弊社ではもともと遠隔サポートなどを実施の経緯があり自社へテレワーク実施可能であることを考え遠隔業務を行い現在まで至ります。

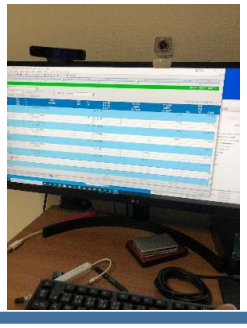
テレワークの実施概要

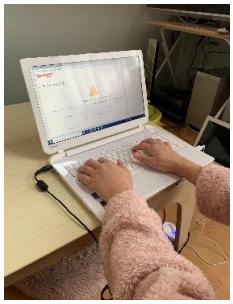
■実施期間　令和3年10/20～継続中
■利用人数　1名
■テレワーク実施部門　総務　経理　業務スケジュール管理
■Chromリモートデスクトップ　自社開発WEB遠隔ツール（Unity　C#）
　今回の導入に当たり　ゲーミングPC　DELL　160,000円　富士通製　Win10　138,000円　2機種導入　ソフトウェアは自社製品にてコスト無　暗号化ソフト　30,000円
■遠隔ではリスク伴うことを踏まえ　BIOS　パスワードロック　及び　HDD暗号化ソフト導入また
　指紋認証にてPCを使用できるように設定変更　また、自宅での固定IP導入など情報セキュリティ強化を実施

テレワークに関する社員の声

出社はなくてもテレワーク実施できる多様な面が確認取れましたが出社しないことによる違和感も感じられた。非接触ということにより感染リスクは押されることができ今後さらに活用できるように思考できるようになりたい。







テレワークの成果

出社にとらわれない勤務可能であることを実感。また、さらに新しいツールなどを確認できることができ弊社の業務へも活用可能

テレワーク実施に当たっての課題

メインは無料ツールを使用しましたがテレビ通話では時間制約があること及び操作の遅延などスムーズに業務をこなすことができなくなることがあり今後世のなかのネットワーク事情の改善、テレワーク実施できるツール多様性、システムセキュリティの強化は再度見直す必要があるかと思われます。

テレワークの今後の活用法、期待すること

遠隔サポートなど別業務にも活用可能。ただし前項にも記載いたしましたが無料ツールでは限界があり有料ツール導入を示唆致しますが弊社でソフトウェア開発も考えております。

BASSLINE

所在地：旭川市6条通8丁目36-3
連絡先：0166-27-2747

業種・事業概要

小売事業 / イベント企画・運営業

従業員数

1名

資本金

300万円

テレワーク導入の経緯・目的

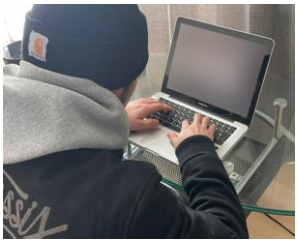
新型コロナウイルス感染拡大状況による、非常事態時でも業務ができるようテレワークの導入により在宅勤務を実施する。実施することで、通勤時間の軽減、業務配分の見直し等が可能になることで、計画的な業務遂行にもつながる。また従業員満足度の向上もはかる。

テレワークの実施概要

■実施期間
令和3年11月1日～
■これまでの実績
新型コロナウイルス感染の対策として、リスク軽減と非常事態に備えるために導入し、実地した。
これからの働き方の多様性を考える上での実施。
■テレワークを実施した作業概要
商品画像編集・データ作成等
■使用したICTツール、設置費用
ポケットwifiとノートPCを持ち運び使用した。

テレワークに関する社員の声

・通勤時間が軽減でき、その分時間の有効活用ができた。
・作業に集中することができ、作業効率もあがった実感ができた。
新型コロナウイルス感染症のリスクなどは気にせず仕事に取り組めた。
・ネット環境の影響でデータのやりとりに少し遅延が生じる場合があった。



テレワークの成果

・新型コロナ感染症の拡大時の緊急事態宣言化などの状況で、休業がやむえない場合でも事業を継続することが確認できた。
・コロナの感染拡大時の対策として、従業員から「作業しやすかった」という反応があり、安心できた。

テレワーク実施に当たっての課題

・新しく導入する機器やアプリの操作への慣れが必要の場合がある。
・テレワーク実地の際に、口頭や文面だと伝わりにくい作業がある場合、テレワークの為のさらなる環境整備が必要となる。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・今後、新型コロナ感染症の拡大時に備えて、テレワークによる勤務も可能にできるよう柔軟な態勢を整えていきたい。
・従業員の希望するライフスタイルを尊重して、「働き続けたい」と思える環境構築の一環として、今後もより使いやすいシステムや設備を導入して検討していきたい。
・課題もあるため、円滑にテレワークを実施できるツールやシステムを考慮していいきたい。

ユー・システム（株）

所在地：旭川市東鷹栖4-10-3-11

業種・事業概要

教育機器、OA機器、事務機器、事務用品等の販売と保守

従業員数

5名

資本金

3,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウィルス感染症拡大を機に、感染症蔓延や災害時のような非常時においても、感染拡大リスクを軽減しながら事業継続が可能となるようテレワークを導入した。

テレワークの実施概要

実施期間：令和3年12月27日より現在も継続中

これまでの実績：
　新型コロナウィルスの対策として、人との接触を避けられるよう、週1～2回のテレワークに取り組みました。また、各メーカー・仕入れ先・ユーザーとの各種研修会商談などを在宅にてWeb会議方式で行いました。

テレワーク作業概要：
　社内コミュニケーション・スケジュール管理・日報管理のシステム化を行いました。

使用したツール・設置費用：
　スマートホン更新3台　これに掛かる費用
　LINE　WORKS、Googleカレンダー、Zoom・TeamsなどWeb会議システム

テレワークに関する社員の声

見積書や提案書・資料作成に集中することが出来、作業効率が上がりました。
今後も、業務に差し支えのない範囲でテレワークを実践したいと思います。

自宅

社内

テレワークの成果

社員間の感染リスクを下げることができた。
遠方メーカー・仕入れ先担当者と画面上で顔を合わせることができた。
アナログで行っていた業務をデジタル化することで、データを共有出来業務効率が上がった。

テレワーク実施に当たっての課題

勤怠管理、特に長時間労働になってないか？
社内ネットワークへのアクセス制限

テレワークの今後の活用法、期待すること

セキュリティ強化を講じ、外部PCから社内ネットワーク利用を可能にし、テレワーク業務拡大したい。

（株）旭川あんしんプランナー

所在地：旭川市9条通8丁目
連絡先：0166－23－5005

業種・事業概

保険代理業
・損害保険
・生命保険

従業員数

８名　（R3.11/1現在）

資本

１３０万円

公式LINEアカウン

テレワーク導入の経緯・目

・新型コロナウイルス感染症対策
・育児・介護等と仕事の両立
・業務の効率化
・働き方改革

テレワークの実施概

●実施期間
　令和3年11月1日～
●これまでの実績
　新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスク低減のため、オフィスが一人、週1回以上取り組むこととした。
　実施に先立って実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時のルールを策定した上で業務をすすめた。
●テレワークを実施した部門、作業概要
　オフィス部門では事務作業（書類作成）・打ち合わせ（WEB会議）・ツールでの学習を実施した。
●使用したICツール、設置費用
　実施するためにZOOMツールを有償のものを取り入れ。
　電話9台・ノートパソコン1台・購入した。
●工夫したこと
　規程を詳細に作り込み、全従業員に周知したうえでテレワーク導入担当を選任し実施方法や不明点等の問い合わせに対応した。また、実施者には、専用の

テレワークに関する社員の

・会社だと来客対応や電話応対で、業務が途切れる事が多かったが在宅での勤務は集中して業務を遂行する事が出来る
・問題点や相談事はZOOMを活用して対応できるので、とても安心です
・個人からのお客様への電話も、会社の回線を通してかけるシステムを導入したので個人情報が守られる
・通勤時間が無い分、家事がはかどる
・体の不自由な親と同居の為、そばにいるだけで安心できる
・在宅の費用弁済も整備されて良かったです

自宅と会社それぞれのデスクの前にてZOOMで打ち合わせ

テレワークの成

・コロナ対策として始めたテレワークですが主婦が多い職場の為、学校が休みになっても家にいる事ができ子ども達が安心だと言う。また、子どもが急に熱がでたり体調不良の為に会社を休まなくても、在宅で仕事が出来るメリットは子育て世代の人には好評です。
・事務作業に集中できて効率が良く、中断されることが無いのでミスも少ない
・特に冬場の通勤途中の事故の心配が無くあんしん
・働き方改革の一助になる

テレワーク実施に当たっての課

・仕事と家庭でのメリハリがつかなくなる可能性もあり、テレワークの管理が課題となる
・自己管理が難しい（やり過ぎる人、さぼる人等）
・テレワークでの仕事量が適正かどうかの判断が難しい
・セキュリティー上の問題は業者任せではあるが、心配な面はぬぐえない
・テレワークしやすい部署と、そうでない部署との不公平感が社員さんから出てくるのではと感じています
・コミュニケーション不足にならない様に注意が必要

テレワークの今後の活用法、期待する

・BCPの観点からもテレワークは重要な要素となり、リスクの分散につながる
・リモート面談が進めば、お客様との商談もオフィスで無くても対応でき、いつでもどこでも商談ができる。お互いに時間を有効に使える
・動画を併用したり資料をメールで送ったりとお客様により分かりやすい商品の説明が出来るようになるし、スピード感が生まれる
・ワーケションの実現に向けた一助になると期待します
・更なるペーパレス化の実現に向けた取組みが出来ると期待します
・移動時間が無くなる事での業務の効率化が期待できます
・店舗やオフィスを大きくしなくても仕事が出来る様になる

株式会社NA Create

所在地：東光9条3丁目2-10信宅ビル1F
連絡先：0166-35-4220

業種・事業概要

保険代理店

従業員数

4名

資本金

100,000円

テレワーク導入の経緯・目的

コロナ禍の状況で、お客様にもなかなか会えない時期が続いており、WEBでの契約や研修等が増えているので、社員が自宅でのテレワークでもできることが増えているために導入を考えた。

テレワークの実施概要

実施期間
2021年10月25日から開始

利用人数
一名

実施部門・作業概要
営業
WEBでの研修・講習　お客様の保険設計

ICTツール
会社名義のPCとインターネット回線は実施者の自宅のものを利用
ソフトは保険会社のもので社員以外はアクセス不可のもの

設置費用
なし

テレワークに関する社員の声

通勤や移動にとられる時間が短縮されたことにより、ゆっくりと業務にとりかかれた。
人と会う時間が少なくなるため、コロナの感染リスクが減少した。

会社に出勤して行わなくてはいけない仕事と、テレワークでできる仕事の分担を
はっきり分けなくてはならないと感じた。

テレワークの成果

出社する場合と比べてどちらが効率的かどうかは判断できないが、テレワークの環境整備により、今後さらに緊急事態宣言が出た場合でも全社員の業務がスムーズにすすめられるようになった。

これからの働き方の一つの方法として、新しい選択肢ができたと思います。

テレワーク実施に当たっての課題

今の段階ではまだ毎日テレワークというのは難しい部分がある

セキュリティ対策をしっかりしないといけない

これからテレワークの人数を増やすことを考えると、PC等の購入費用の問題がある

テレワークの今後の活用法、期待すること

今後、今まで以上に感染拡大が起こることを予測して、事業継続計画の一環として
テレワークによる勤務体制を調えていくことが重要になる

誰でも円滑に業務をすすめられるように、さらにテレワーク用ツールの導入を検討したい

税理士法人 薄井会計

所在地：旭川市曙1条6丁目1番5号
連絡先：0166-24-5166

業種・事業概要

〈業種〉
専門サービス業（税務・会計等）
〈事業概要〉
法人・個人の税務相談、各種税務申告業務、記帳代行、経営分析などの税務・会計サービスの展開、農業・医業へのコンサルティング業務

従業員数

23名

資本金

100万円

テレワーク導入の経緯・目的

〈経緯〉
新型コロナウイルスの流行をきっかけに、各業務のデジタル化やペーパーレス化とともに、働き方の選択肢や範囲を広げることも視野に入れた。

〈目的〉
従業員の私生活の向上および効率性の高い働き方を可能とすること。
ひとりひとりに合う働き方を提供し、離職を防ぐこと。

テレワークの実施概要

〈実施期間〉
2021.5～

〈これまでの利用人数等の実績〉
実施人数：10名（常時雇用労働者数：15名）
2020.5　新型コロナウイルス流行により、テレワークに向けての情報収集や準備を開始。
2020.7　必要機材の購入や、実施に向けての具体的な手続き等を検討。
2021.5～　テレワークを導入・実施開始。現在に至る。

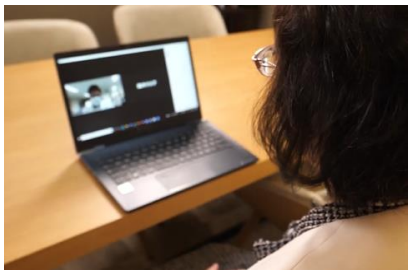
〈テレワークを実施した部門、作業概要〉
記帳代行、税理士の指示に基づく税務書類の作成、経営分析等。

〈使用したICTツール、設置費用〉
RATパトロールⅡ　@5,060×4本＝¥20,240

〈工夫したこと〉
会社で使用していなかったパソコンを持ち帰り用として整備し、経費を削減すると同時に、自宅にパソコンがない従業員のテレワーク実施も可能とした。

テレワークに関する社員の声

・電話や来客等による作業の中断がなく、普段よりもスムーズに業務に励むことができた。
・想像よりも集中して仕事に取り組むことができた。
・パソコンや周辺の機材は会社のものを持ち帰るため問題はないが、自宅の机や椅子が合わず体が痛くなってしまうため、意識的にストレッチをしながら行った。
・家族の新型コロナのワクチン接種の付き添いや副反応への対応と、仕事を両立することができた。
・改善すべき点もあるが、これから先は出社することが難しい場合も仕事が行えることがわかり、安心できた。



テレワークの成果

・テレワークの実施は非常に簡単で、従業員のテレワークへの意識やイメージが、前向きなものとなった。
・会社全体でペーパーレス化への意識が高まり、試行錯誤しながらも実践するようになった。
・緊急事態宣言等が発令されている期間でも、従業員の出勤時間や日数を調整することなく、健康的に業務を行うことができた。

テレワーク実施に当たっての課題

・実施できる従業員に偏りがあるため、テレワークでも実施できる業務の種類を増やす必要がある。
・テレワーク実施時の外勤について、具体的な手続きや方法を検討する必要がある。
・実施する際の荷物が多いため、ペーパーレス化への慣れが必要である。
・テレワーク実施中の従業員の体調不良や過労についての把握が難しい。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・新型コロナウイルスの流行がきっかけで導入したが、産休・育休等の後の職場復帰にも活用できることを期待している。
・感染拡大への備えとしてはもちろん、従業員ひとりひとりのライフスタイルによって、柔軟な働き方を提供できるように整えていきたい。
・私生活の環境の変化等によってやむを得ず離職してきた方にも積極的にPRを行い、実力を発揮できるよう支援していきたい。
・会社全体がペーパーレス化に慣れることにより、環境にも配慮をしていきたい。
・問題のある部分については、実施した従業員の意見を尊重し、改善していきたい。

税理士法人 中央総合会計

所在地 旭川市7条通13丁目59番地4
連絡先：0166-25-4131

業種・事業概要

税理士事務所
・税務代理、相談（税務のお手伝い）
・会計業務、相談（会計・経理のお手伝い）
・経営コンサルティング
・経営革新等支援基幹業務
・M＆A業務　他

従業員数

45名

資本金

円

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に、三密回避、作業時間短縮、業務効率化など沢山のメリットがあることを目の当たりにしたことが導入経緯です。当事務所としても、社員一人一人のワークライフバランスを実現する事、社内外との連携強化及び優秀な人材の確保を目的としています。今後は新型コロナウイルス感染症が感染拡大するのか、収束するのかわからない状況下で当事務所としては、いずれにしてもテレワークを推し進めていく事で、今後の時代に対応し、上記のメリット、目的達成をする。時代に対応していく。

テレワークの実施概要

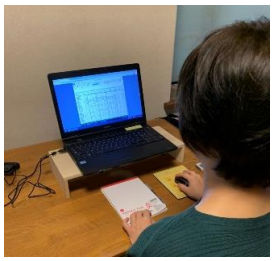
■■実施期間　令和3年10月4日～
■これまでの実績　新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスク低減、冬場の駐車場確保、通勤時間削減のため、全体で3割の出勤率の低減を目標として、最低3人以上が週1回以上取り組むこととした。実施に先立って実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時のルールを策定した上で、業務のペーパーレス化やクラウド化を進めた。令和3年10月末までに、全職員の6割程度が実施している。
■テレワーク実施に伴い、事務作業、打ち合せ、顧客の問い合わせ対応等を行うノートPC端末を携行し、取引先訪問時にWEB会議で内勤職員と繋ぎ、サービスの説明を行ったり、在宅勤務以外のテレワークも実施している。
■使用したICTツール、設置費用　試験的に実施するため、リモートツール、ビジネスチャットツールは無償のものを使用、WEB会議、ポケットWi-Fiは既契約＋新たに契約で増台して使用、その他専用のノートパソコンとモニターは新たに購入した。
■工夫したこと　全従業員に周知した上で、テレワーク導入担当を選任し、実施の方法や不明点等の問い合わせに対応、1ヶ月先までスケジュール表を作成。また実施者には、専用のノートパソコン、モニターを貸与するとともに、実施者の負担軽減を図った。尚、電子印鑑により実施者、所属部長、所長への全ての申請、承認、確認作業をペーパーレス、電子データで資料保存まで行うこととした。

テレワークに関する社員の声

・電話等が少ないので仕事はやりやすい面があった
・特に困った点はない、時間に余裕ができてよい
・一気に集中してやる仕事はかなり捗った
・事務所の密と駐車場不足が解消できた、冬期間の駐車場の心配をしなくてもよくなった
・通勤時間の削減ができた
・緊急事態宣言等が出ていない時期は希望者のみで良い
・できる業務が限られる、資料不足が出た場合、仕事が止まってしまう
・オンオフの切り分けができない

自宅

自宅



朝礼時　社内 + 自宅

テレワークの成果

・コロナの感染拡大防止に対しては、事務所内の密が回避、出勤人数の減少等で効果があった。
・リモート操作をすることにより、職員のITスキルが平均以上に上がった。
・チャットツールをフル活用することにより、連絡がリアルタイムにでき、迅速対応できた。
・既存の課題の駐車場不足解消ができた。
・ペーパーレスをする事が持出資料を少なくする事や他の職員との共有などに繋がるため、職員一人一人の意識が変わり始めている。
・職員、業務によって、テレワークの向き不向きが明確化してきた。

テレワーク実施に当たっての課題

・パソコン画面が見ずらい、通信が安定しない、朝礼、ミーティング時の声が聞こえないなど、機械等の不満、トラブルが出てきている
・日報は提出しているが、実際に職員がどのくらいやっているかが測れない
・テレワークのサポートをしている職員に負担が集中している
・事務所内の電話対応する職員が少なくなり、負担が集中している
・ITトラブルが起きた時の自己解決能力が足りない
・ペーパーレスをしない職員がいる

テレワークの今後の活用法、期待すること

・テレワークをすることにより、職員一人一人のワークライフバランスの実現、働きやすい環境を築いていく事が目的なので、今後コロナの感染拡大が収まったとしても積極的に活用をしていく。そのためには社員の声、課題をひとつずつクリアしていく事が目的達成に繋がると信じている。
今後の期待することは、
・職員が「当事務所で働き続けたい」「環境が良い」と思われる事、離職率の低下
・職員一人一人のITスキルの能力アップ、自己解決能力アップ
・テレワークのサポートなどの管理者不在でも運用可能な体制
・顧問先に対しても、オンラインで打合せできるようになる事（主に遠隔地での対応ができる事）
・一人一人が意見を出し合って、テレワークルールが定着する事
・セミナー、研修、講義などもオンラインで積極的に参加できる事
・国、自治体で進めている電子化の対応ができる事

株式会社クレア

所在地：旭川市豊岡9条7丁目8番地11号
連絡先：080-6098-8448

業種・事業概要

不動産・売買・賃貸・管理・開発・投資

従業員数

3名

資本金

10万円

テレワーク導入の経緯・目的

経理業務管理をテレワークにて実施
出社をせずに時間短縮を目的とする

テレワークの実施概要

■実施期間：1/4より実施開始現在も進行中
■利用人数　経理・賃貸管理実施しており現在1名にて検証
■実施部門、作業概要　時給計算　業務スケジュール管理
■賃貸管理クラウド管理
■賃貸物件監視カメラなどをPCにて管理

テレワークに関する社員の声

業務管理の時間短縮化
ペーパーレス化による経費削減

テレワークの成果

時間短縮　業績向上　ペーパーレス化

テレワーク実施に当たっての課題

クラウド管理にての業務不慣れのため人員増やす場合には時間を要する

テレワークの今後の活用法、期待すること

もっと簡潔なクラウドシステム及びセキュリティ強化に遵守されたツールに期待いたします。

㈱ノヴェロ 旭川支社

所在地：旭川市1条通11丁目左1号
連絡先：0166-24-5285

業種・事業概要

総合広告会社
・各種広告のプランニングおよび制作
（新聞・ラジオ・テレビ・雑誌・各種印刷物・
折込・交通広告・看板等）
・各種イベントの企画・実施

従業員数

25名（R3.10.1現在）

資本金

5,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、蔓延防止、また非常時の事業継続が可能となるようテレワークを導入した。
また現在育児休暇取得中の社員が復帰した際、育児との両立を支援する政策として導入する良い機会となるため、柔軟な働き方を確立する第一歩として労務規定の制定を行いました。

テレワークの実施概要

■テレワークを実施した部門、作業概要
制作部・営業部を対象として実施した。
制作は作業自体は導入後も問題なく業務が行えた様だが、制作物の提出や校正時にデータのやり取りのみでは不十分のため、出社する事もあった。
営業に関しては業務の内容等本人任せの為、少し課題が残った。

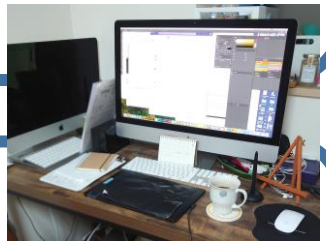
■実施期間・実績
緊急事態宣言発令中の　令和3年9月30日迄
人数としては、制作部8名、営業部は最大4名が利用した。
令和3年10月18日より、制作部1名がモデルケースとしてテレワークを実施している。

■使用したICTツール
勤怠・業務管理は以前から使用していたdesknet's NEOを使用。
試験的に実施するため、WEB会議、ビジネスチャットツールは無償のものを使用した。
ネットワーク・wifiはテレワーク実施者の同意のもと、自宅回線を利用して頂いた。

■工夫したこと
全社員で行う朝礼が実施出来ないため、朝チャットツールで連絡事項を発信し、連絡漏れがないようにした。

テレワークに関する社員の声

・今後も継続して実施すべきだと感じる
・通勤時間等無駄な時間がなくなり、ストレスなく業務に集中できる。
・テレワークについて取引先の理解を得ることができ、今後の通常業務遂行時においても活用できると感じた。
考えていたよりスムーズに連絡、連携が出来た。
・率直にメリットもあったが、デメリットもあったという感じです。(情報共有や対人とのやり取り等は便利でしたが、その分相手に伝えたりお願いする為には、反応が分からないので諸々準備したり、打ち込んだりと手間も掛かった)
・今、なぜ？突然実施の感。会社としての方針が見えなかった。
・職場にいるよりも集中できた。今後も継続されるのであれば積極的に利用したい。
・通常勤務で生じる電話対応、部署間での相談など周知徹底とはいかなかったが、割とスムーズにみんな対応できたと思う。
・レスポンスが個々で異なるので応答がないのは読んでいるのか読んでいないのか、わからないのでそのあたりの対応は必要だと感じた。
基本テレワークは、1対1のやり取りで、全体で密なコミュニケーションが取りにくいので、個々のスキルアップや数字向上の為の動きを会社としてのどうしていくかは大事な気がします。



テレワークの成果

・SDGDの観点からも紙の使用量が減って良かった
・感染リスクを減らせる上、通常業務時に発生する様々な経費を削減できる。
・今まで当たり前だったことを見つめ直し、新たな考えを発見することができた。
・各々の状況下が違う中(クライアント・社内)、それぞれに合った方法の選択や選択肢が増えた。複数人との情報の共有　はとてもやり易かった。
・デザインに関してはテレワーク実現可能な手ごたえを感じた。営業に関してはテレワークの意味を理解していない人が多かった。
・通勤時間がないために拘束時間が減り、ライフワークバランスが改善した。仕事で遅くなると夕飯が食べられないことが多かったが、テレワーク導入で食生活が整い体調が大幅に改善した。
・teamsなどのコミュニケーションツールを活用することで、時間のロス、紙の無駄を省けた。

テレワーク実施に当たっての課題

WEB会議など新しい働き方に対応できない人の扱い方
業務遂行上、自宅にプリンターが必要と感じることも。(複数のデバイスがあれば補えることも)
社員全員の意識を変えないと円滑にテレワークを進めることができない。
制作に依頼するときに電話だと伝わりづらい事があった。TEAMSの依頼で伝わっていないことがあった。
各人の環境により、データのやり取りに時間が掛かったり、上手く相手に伝わらず手間が掛かる事もあった。
制作の方が全員いない時の対応に困る事もあった(データの確認やスキャン等)
ネットによる打ち合わせの仕方が不十分。ルーティンはいいが、新規案件に対応できない。
修正箇所は校正紙に赤字が入ったものを見られるのが確実。Ipad＋Apple Pencilでpdfに書き込みができるようになるとやりやすいのではないか。Teamsで言葉だけの指示では、修正箇所がわかりにくい場合があった。
また実施時期は気候が落ち着いていたので良かったが、真夏や真冬は冷暖房のコストがかかりそうで少し心配。
ネット活用でのコミュニケーションの取り方に得手不得手があったよう。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・会社に出たい人は出ればいいし、テレワークで対応できる人はそうするなど、個人個人に併せた働き方に期待します。
・テレワークと通常業務の両立を図り、時代に乗り遅れないようにする。
・更なるペーパーレス化を行い、無駄のものをなくす。
・管理職へのセミナーを行い、より多くの部門での活用に向けた理解を促していきたい。
・テレワークと通常業務の良い所を活用し、より良い働き方が確立出来ればと感じます。
・テレワークの環境とルールを整えられれば当社も十分導入可能だと思えた。
・制度利用希望者は、育児や介護、病気療養などの条件なく利用できるようになると嬉しい。テレワークが可能になれば、支社の垣根を超えて仕事をすることができるので、適材適所を徹底し業務効率化をはかれるのではないか。
・より多様な働き方として、当社のようなフットワークの軽い業種がモデルケースとなれば
・社会全体を働きやすく休みやすくしていける構図を築いていけるのではないか。

SKYグループ㈱

所在地：旭川市緑が丘東4条2丁目1-8
連絡先：0166-74-6088

業種・事業概要

理容美容業。
旭川市内において緑が丘に1店舗、豊岡アモール内に1店舗を展開している。

従業員数

8名（令和4年1月現在）

資本金

100万円

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの感染拡大を機にして、非常事態でも対処できる仕組みを形成していくことと、従業員の通勤時間の削減やワークライフバランスの向上を目的としてテレワークを導入した。また従業員が働きやすい環境を作っていけば、新しい人材の確保、従業員の職場定着にも繋がると考えている。

テレワークの実施概要

〇実施期間
令和3年10月13日～
〇利用実績
新型コロナウイルス感染症への対策として、職場での感染拡大のリスクを低減するため、事務員は店舗への出勤を8割方削減し、本社または自宅での勤務とすることとした。実施に先立って、実施の目的、実施の方法、在宅勤務のルールを策定して、情報の漏洩の防止のためセキュリティ対策と業務のペーパーレス化を進めた。
〇テレワークを実施した部門、作業概要
経理部門、労務部門の事務職が実施した。
資料の作成、経理、給料計算などを行っている。
〇使用したICTツール、設置費用
事務作業に使うためのパソコンを1台購入した。またズーム機能を使い、会議や打ち合わせにも使用している。
〇工夫したこと
従業員全員にテレワークについて周知し、テレワークの責任者を選任して、問い合わせについて対応した。

テレワークに関する社員の声

通勤時間が削減されたので、業務に費やせる時間が増えたので良かった。
業務に集中できる時間が増えたため、業務の質の向上や作業ミスの減少に繋がった。
通勤のストレスがなくなった。
在宅勤務のルールがきちんと定められているので、気兼ねなくテレワークに取り組めた。
コロナの感染を恐れないでよいので、安心して業務に取り組める。
ひとりでの作業になるため、周りに気を遣わなくてよいので、ストレスが緩和された。
従業員同士での感染のリスクが低減されるので、お客様との接客も安心感が増した。

テレワークの成果

はじめはコロナの感染リスクを減らすために、テレワークを行っていたが、職員からはとても働きやすいとの声が多く、これからは通勤不要の時代がくるのではないかと思わされた。
在宅勤務は実施者本人だけでなく、現場で働いている職員にも安心感を与え、さらにはご利用者様の安心にも繋がっている。
資料のペーパーレス化を進め、データ保存することで、業務内容の共有がしやすくなった。
クラウドに保存することで、どこにいても業務の確認が出来るので、作業がしやすくなった。

テレワーク実施に当たっての課題

現場で働く職員がテレワークを活用するのは難しい。
徹底したセキュリティー対策をしていかなければならない。
情報の漏洩に不安がある。
テレワークをしている職員がきちんと業務に専念しているのかが、わかりにくい。

テレワークの今後の活用法、期待すること

テレワークを活用していくことによって、職員が安心して働いていける職場、働きやすい環境を形成し、職員の定着、新しい人材の確保に繋げていきたい。
在宅勤務においての業務の見える化を図っていき、不公平感を無くし、現場の職員とも一体となってテレワークを活用していきたい。
今後はビジネスチャットツールを利用して、オンライン会議などで活用していきたい。
チャットツールを利用して、職員間での連絡や報告をスムーズにして、業務改善やサービスの質の向上につなげていきたい。
今後はクラウドを活用していき、各店舗とのやり取りや、資料の保存をデータ化して、ペーパーレス化を進めていきたい。

ひだまりGROOMING

所在地：旭川市豊岡3条4丁目4-25 BOX H 102
連絡先：070-2003-0412

業種・事業概要

児童学習支援及び保護者誘導活動
動物カウンセリング

従業員数

2名

資本金

0円

テレワーク導入の経緯・目的

コロナ禍にて対面支援が困難であることと出社することなく簡潔な業務遂行をこの機に転換を考え導入に至りました。

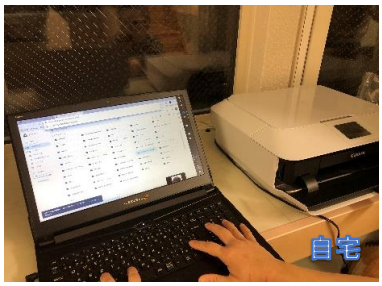
テレワークの実施概要

1. 2021年度11月29日より現在に至る
2. 利用人数　：　代表を含めた2名（1名パート）
3. 実施業務　：　経理作業・スケジュール管理・ツールによる非対面会議
4. 仮想デスクトップ　ビジネスチャット　クラウドプラットフォーム
5. PCセキュリティ強化→ファイアウォール等情報漏洩対策　HDD暗号化ソフト使用　添付ファイル暗号化及び復号等使用ハードのセキュリティに遵守

テレワークに関する社員の声

紙などの保管しているデータをペーパーレス化にすることによりデータをどこでもアクセス可能となる点とリモート増やすことにより出社回数を減らすことができる。（メリット）

慣れるまで時間を要してしまった為にペーパー作業より時間がかかってしまった。コミュニケーションが減ってしまいます。（デメリット）



テレワークの成果

自宅作業であるため集中することができる。移動時間削減できるために趣味や余暇などの時間を増やすことができる等今までに感じることができなかった時間の有効活用が可能となり，自由な時間を増やすことが可能になったかと思われます。

テレワーク実施に当たっての課題

初めてのこともあり操作に時間がかかり通常の同作業よりも時間を要することが問題ではあるがなれることによりスムーズに行えるようになりました。別なICTを使用するたびに業務外の作業遅延事例があることが問題かと思います。マニュアルなどはHPなどで確認できますが別途簡潔な内容に置き換える資料が必要かと思います。

テレワークの今後の活用法、期待すること

他社の導入事例など確認して感じることは導入に成功したと感じることができるようにICTツールをさらに活用した自宅電話応対などを大企業でなく簡単且導入費用を抑えることができるような新しいツールが広まっていただければ幸いです。

株式会社　青山

所在地：旭川市神楽岡4条7丁目4番13号
連絡先：011-623-3192

業種・事業概要

介護福祉サービスとして通所介護、短期入所、有料老人ホーム、訪問介護を提供しております。『～あきらめない介護へ～』をスローガンに、いつまでも住み慣れた地域で、住み慣れた生活が出来るようにという思いで、サービスを提供しております。

従業員数

150名（令和4年1月現在）

資本金

2400万円

テレワーク導入の経緯・目的

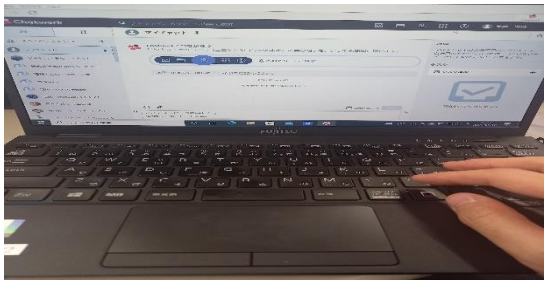
新型コロナウイルス感染拡大を機に、災害など非常事態に対処できる仕組み作り、また人材確保、生産性の向上を目的をしてテレワークを導入した。その他、従業員の通勤時間の削減、ワークライフバランスの向上により、従業員が働きやすい環境が形成され、従業員の職場定着にも繋がると考えている。

テレワークの実施概要

〇実施期間
令和3年10月16日～
〇利用実績
新型コロナウイルス感染症への対策として、介護事業所での感染のリスクを低減するため、事務員は事業所への出勤を原則無くし、本社または自宅での勤務とすることとした。実施に先立ち、実施目的、実施の方法、在宅勤務のルールを策定し、情報の漏洩の防止のため業務のペーパーレス化を進めた。
〇テレワークを実施した部門、作業概要
総務、財務、労務、レセプト部門と本部では全ての部門が実施した。
事務作業を主として、資料作成、経理、給料計算、日々の実績の報告を行っている。
〇使用したICTツール、設置費用
ビジネスチャットツールはチャットワークを使用して、オンライン会議で活用した。また日々の報告もチャットを通じて行い、業務の見える化を図っている。
〇工夫したこと
パソコンの遠隔操作ツールを利用し、離れた場所にあるパソコンを操作したり、職員同士のやり取りや指導に役立てた。

テレワークに関する社員の声

通勤時間が削減され、身体的にも精神的にもストレスが無くなった。
作業に集中できる時間が増えたので、仕事の質の向上、作業ミスの減少に繋がった。ほかの職員に気を使わないでいいところも良い。
コロナの感染が怖かったので安心した。
在宅勤務のルールが定められているので、気兼ねなくテレワークに取り組めた。
ひとりでの作業に不安があったが、遠隔操作やオンラインなど、いつでも教えてくれる環境が整っているので、安心して業務に取り組めた。



テレワークの成果

はじめはコロナの感染リスクを減らすために、テレワークを行っていたが、職員からはとても働きやすいとの声が多く、これからは通勤不要の時代がくるのではないかと思わされた。
在宅勤務は実施者本人だけでなく、現場で働いている職員にも安心感を与え、さらにはご利用者様の安心にも繋がっている。
資料のペーパーレス化を進め、データ保存することで、業務内容の共有がしやすくなった。
クラウドに保存することで、どこにいても業務の確認が出来るので、作業がしやすくなった。

テレワーク実施に当たっての課題

介護の現場で働く職員にとっては、活用がとても難しい。
セキュリティー対策やネット環境の整備が整っていない職員もいる。
情報の漏洩に不安がある。
勤務の実態が見えづらいので、評価が難しい。

テレワークの今後の活用法、期待すること

テレワークの活用により、柔軟な勤務体制の仕組みを確立させ、職員が働きやすい職場、環境を形成していきたい。
職員の定着、優秀な人材の確保に繋がる手段の一つをして、テレワークを活用していきたい。　　業務の見える化、改革を図り、生産性の向上につなげていきたい。
チャットツールを利用して、オンライン会議などで、どこにいても、誰とでも繋がれる環境を形成し、移動時間の削減につなげていきたい。
チャットツールの利用により、職員間での連絡、報告をスムーズにし、業務改善やサービスの質の向上につなげていきたい。
テレワークを実施出来る者と出来ない者とに不公平感が生じるため、現場の声を踏まえて、テレワークの活用を進めていきたい。

(有)アメリカンハウス

所在地：旭川市神居2条12丁目1－19
連絡先：0166－60－2300

業種・事業概要

宅地建物取引業
居宅介護支援事業所

従業員数

3名

資本金

1000万円

テレワーク導入の経緯・目的

業務効率性の改善に加え新型コロナウイルス感染症の事業所内感染を予防する効果も期待して試験的に導入することにした。同時に出産・育児・介護などプライベート部分と仕事を両立させた働き方が可能になると考えている。

テレワークの実施概要

■実施期間
令和3年9月1日～

■これまでの利用人数等の実績
当初2名の実施を予定していましたが、業務の都合上、1名週1回での試験的な実施となりました。

■テレワークを実施した部門、作業概要
居宅介護支援事業所に所属するケアマネージャーが、クラウド型の介護ソフトを利用したケアプラン・記録等の作成業務、ビデオ通信でのWEB会議等を実施しました。

■使用したICTツール、設置費用
クラウド型介護ソフト（カイポケ）、クラウド型グループウェアアカウント(マイクロソフト365)、スマートフォン、タブレットを導入しました。

■工夫したこと
グループウェアやスケジュール管理ツールを使い、情報共有やコミュニケーションが円滑にできるよう心掛けました。

テレワークに関する社員の声

・通勤・移動時間を別の作業・行動に活用できた
・作業を中断されることなく、集中して業務ができた。
・仕事とプライベートの感覚の切り替えが難しかった。
・自宅で出来ない、社外に持ち出せない作業がある。

テレワークの成果

・移動時間などを生かして業務を行えるなど、従業員の労働生産性を向上させる可能性があることを確認できた。
・テレワークを中心とした働き方であれば、外出することなく業務が行えるため、感染症の感染リスクを下げられたり、自然災害発生時にも安全な場所から業務を行えることが確認できた。

テレワーク実施に当たっての課題

・各サービス事業所とのやり取りが未だに紙やFAXが主流のため完全にテレワークに移行することが困難な状況である。
・端末やネットワークに不具合が発生したときに直接他の人を頼ることができない状況も考えられるので、解決策を導き出すためのIT基礎知識の習得が各人に求められる。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・対面が中心の現場であっても、テレワークが可能な業務を置き換えることによって、効率的な事業所運営をすることで、職員の負担も減り、スキルと経験を積んだ職員が高齢になっても働き続けやすい環境を構築したい。
・記録や連絡業務をペーパーレス化・効率化し、職員の負担の軽減を図りたい。
・テレワークを推進することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めたい。
・異常気象による大雨や猛烈な台風、大地震の発生などの非常時の事業継続に備えるためにも、テレワークの推進を図りたい。

有限会社環境設備

所在地：旭川市9条通16丁目24番地
連絡先：0166-25-0010

業種・事業概要

介護保険法における認知症対応型共同生活介護等を行っています。

従業員数

50名

資本金

2，500万円

テレワーク導入の経緯・目的

■新型コロナウイルス対策の一環として。
　業務の内容上、重症化し易い高齢者と日常的に接する事から、一部デスクワーク等の事業所では無くても行える業務をテレワーク対応可能にする事により、少しでも接触を少なくする為。
■働き方の改革
　勤務形態の選択肢の一つとして今後の為に整備。

テレワークの実施概要

■実施期間
　令和3年11月14日～

■これまでの実績
　実施する上での規程の整備と周知。週1回～程度を目安として実施。

■実施部門
　管理職（事務作業等のデスクワークを行う者）

■導入したツール
　リモートアクセス対応のVPNルーター。社内VPNへの接続。リモートデスクトップ。ビデオチャットシステム導入等。

■工夫したこと
　ミーティング・会議等のビデオチャットの積極的利用の推進。実施環境整備の為の、必要知識についての相談。テレワーク貸与用のノートPCの準備等。

テレワークに関する社員の声

・コロナの感染リスクを負わずに安心して仕事が出来た。
・静かな環境で集中して仕事ができる。
・急遽子供の体調不良で早退・休みの場合でも、自宅にいることでパソコン業務であれば出来るので気兼ねしなくてよくなる。
・リモート会議・研修などにより継続してコミュニケーションが図れ、また、変わらず新しい関係者との繋がりも広げていくことができ、新しい知識を得ることもできる。

テレワークの成果

・テレワークすることによって業務を滞らせずに進行することが出来た。
・働き方を見直すきっかけとなり、ペーパーレス化が検討され始めた。
・コロナ対策として臨時の活用として予定していたが、感染症対策として「今後も活用できる機会があると思うので継続してほしい」という反応があった。
・子供の事や介護の事で出勤できなくても、自宅にいながらできる業務を行えるので安心して働けると思ってもらえた。

テレワーク実施に当たっての課題

・個人情報を入力しなければならない事が多々あるため、資料などを持ち出し不可なのが大変不便
・自宅でのテレワークなのでさぼっているのではと疑われるような気持になる。
・常に使用しているパソコンではないため、開始時に少し戸惑う。
・自宅にWi-Fi環境がないと厳しい。
・普段パソコンを使用していない人にはテレワークは困難かと。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・個人情報が関わらない業務であれば新型コロナウイルスに関わらず、感染症全てにおいて自宅待機期間もしくは様子観察期間などに活用していきたい。
・子どもの発熱等・家族の介護等で勤務できない職員に対しても、気兼ねなく育児・看病・介護をしながら無理せず働ける環境を提供していきたい。
・雇用者に「働き続けたい」と思ってもらえる職場環境構築の一環として、今後より使いやすいルール、設備を導入していきたい。
・誰でも活用できるように施設内でのパソコンセミナー等を行い、より多くの職員に活用してもらえるようにしていきたい。

(有)ケア・ビジネスサービス

所在地：旭川市大町1条9丁目181－95　2F
連絡先：0166－59－5204

業種・事業概要

介護保険法に基づく地域密着型通所介護の運営

従業員数

16名

資本金

300万円

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染症の対応としてテレワークの検討もしたが、対人業務がほとんどを占めているため、行うことができないとの認識がありました。

しかし変異型やワクチン接種を行っても感染の拡大も想定されることから、対人業務以外で活用することができるのではないか検討した結果、事務部門の業務で行えると判明したため今回の導入になりました。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和3年10月10日～

■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症対策のため、事務部門の1名が週1回以上取り組むことにしました。

実施に際しては、テレワークに関するガイドラインを作り、周知をしました。初めて行うため、業務が忙しい時期を避け、継続できる環境を作りました。

■テレワークを実施した部門、作業概要

通所介護業務の事務系作業を中心に行い、提供記録の整理や計画書の整備、業務一覧表の作成などを在宅勤務にて実施しました。

■使用したICTツール

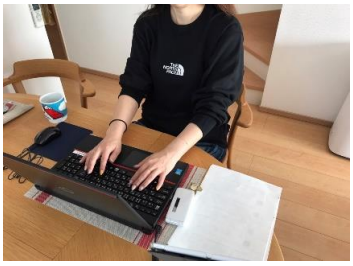
専用ノートパソコン1台とタブレット機器1台を用意しました。PCリモートソフト「TeamViewer」（ノートパソコン）連絡用「LINE」（タブレット機器）

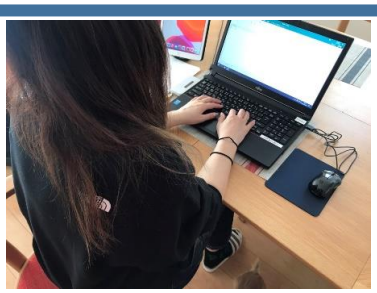
■工夫したこと

勤務の管理や相談のため、定時の連絡をLINEのビデオ通話で行う。

テレワークに関する社員の声

女性でもあり、母親でもあるので通勤時間を考えなくていいと言うことは
朝の準備などの時間の軽減ができるので、とても良かったですし、仕事と家庭の両立がスムーズにできてとても助かりました。
事務職で1日中事務所での作業だった為、在宅ワークなら人と会う機会が軽減され、コロナの感染リスクが防げるのは良いことだと思います。
今はLINE電話やズームなどでも打合せは出来るので、在宅ワークを続けていければいいと思います。





テレワークの成果

出社するより生産性が上がったかどうかは判断が難しいところですが、通勤がないことや仕事と家事の両立ができることによるメンタルの負担は軽減しているところが一番の成果になりました。
また、在宅勤務が長期化になったとしても、働き方の一つの手段として選択の幅が増えたことがよかったと思います。

テレワーク実施に当たっての課題

自宅のインターネット環境で作業の効率や連絡手段に差が出ることが懸念材料になりました。
在宅勤務の期間が長期化するほど、仕事とプライベートの区別がわからなくなるなど、在宅勤務ならではの新しい問題が発生する可能性があるのではないかとの声がありました。

テレワークの今後の活用法、期待すること

今回の経験を今後も別な部門や会社自体の継続にも反映させるため、できるところから整備をやっていき、社員に働き方の一つとして提案ができるように引き続き行っていきたい。

医療法人 恵心会

所在地：旭川市錦町19丁目2166番地の149
連絡先：0166-51-1818

業種・事業概要

デイケア・訪問リハビリ・居宅介護支援サービス

従業員数

124名

資本金

5,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

感染症、自然災害時に事業継続に備えるため。
職員の介護・育児を両立しながら働ける環境を整備するため。

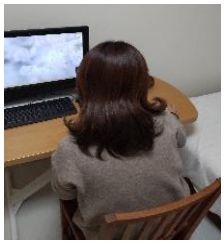
テレワークの実施概要

■実施期間
・令和3年10月13日～
■実施者：
・経理担当者1名（今後拡大予定）
■使用したICTツール：
・ノートPC（会社貸出）、社員宅Wi-Fi使用、
試験的な導入の為、金銭的な負担を抑え、ZOOM、LINE、Google chromeを利用した。
■工夫したこと
・コミュニケーション不足にならないように、午前は職場に出勤し、午後からテレワークを実施した。
・テレワーク実施前に自宅に持ち帰る資料、データを確認した。
・業務内容の確認などには、LINE、メール、ZOOMなどを使用した。
・テレワークの社内規定を整備した。
■テレワークを実施した作業概要
・請求書作成業務
・労務業務（社会保険届出などのオンライン申請等）
・資料作成
・データ入力、データ整理
■これまでの実績
・経理職員一人が週に1回
・新型コロナウィルス感染症対策、自然災害時にも事業継続していくため、テレワークのセキュリティ、実施方法などのルールを制定し、業務のクラウド化を進めた。
・社会保険の手続きなど、行政への各種届け出・申請などはオンラインで申請できるようソフトウェアを導入し、整備した。

テレワークに関する社員の声

・コロナの感染症により休校になった際にも問題なく業務を行えた。
・テレワーク規程の整備により、安心して在宅勤務を行うことができた。
・静かな自宅で集中して、業務を行えたので、仕事の効率が上がった。
・自宅で作業できるので子供が体調が悪い時でも勤務でき、子育て世代の離職予防につながると思う。
・働く時間の選択ができるので、これからの育児・両親の介護と仕事の両立が可能になると思う。
・同僚とのコミュニケーション不足を心配していたが、ZOOMやLINEなどを使い解消できることがわかった。
・行政への手続きがPCにて行えるので、往復時間や待機時間などに時間を割かずに済むので、疲労の軽減にもつながった。
また、郵送代、ガソリン代などのコスト面も抑えられるというメリットも感じた。
・電話応対など現場にいる職員の負担が増えてしまい、申し訳ない気持ちになったので、テレワークを交代制で導入し、不公平感がでないように検討したい。

自宅



テレワークの成果

・試験的な導入だった為、初期投資は抑えて始めたが、働きやすい環境づくりのために便利なITツール等を調べ導入していきたい。
・働きやすく、今後も継続していきたい。
・働き方を見直すきっかけとなり、ペーパーレスで、クラウド上で情報を共有することができることでコストや環境に優しい。
・紙資料から探すよりクラウド上の資料から検索する方が効率的で、生産性が上がり、職場にいなくても資料、閲覧したり、ダウンロードできるので、利便性が上がった。

テレワーク実施に当たっての課題

・複数名が在宅勤務を採用することになると勤怠管理のITツールを導入していきたい。
・在宅勤務が不可能な職員に理解してもらえるように検討していく必要がある。
・年齢の高い職員や、PC操作に不慣れな職員に、機器の操作への慣れが必要である。
・自宅にインターネット環境がない職員にはポケットWi-Fiの貸与も検討していきたい。
・職員のOCTに関する理解を社内教育として進めていく必要がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・今後、事業継続計画の一つとして、テレワークによる柔軟な勤務態勢を整えていきたい。
・職員のライフスタイルを考慮し、永く働き続けたいと思える雇用形態を作り、今後もより使いやすいルール、ツールを導入し、職員の離職防止や、育児・介護離職を防ぎたい。
・人材確保や新卒者の採用に当たってのPRに活用していきたい。
・従業員の満足度の向上や、定着率、生産性を向上させていきたい。
・勤怠・業務管理のIT化を進め、適正評価のための素材として活用したい。
・より多くの部署での活用に向けた理解を促していきたい。
・誰でも円滑にテレワークを実施できるツールの導入を検討したい。
・実施者への面談を行い、テレワークを更に使いやすいものにしていきたい。
・ペーパーレスを進めつつ、PC内のデータをどの職員が見てもわかりやすいファイル、フォルダづくりをしていきたい。

Junto株式会社

所在地：旭川市東鷹栖4条3丁目636-149
連絡先：080-9613-9912

業種・事業概要

・障害福祉サービス
児童発達支援・放課後等デイサービス
　発達障害と言われる子供たちの地域、家庭、学校等での日常生活のスキルを身に付けるための支援を行う事業

従業員数

14名

資本金

300万円

児童発達支援・放課後等デイサービス
ことり

テレワーク導入の経緯・目的

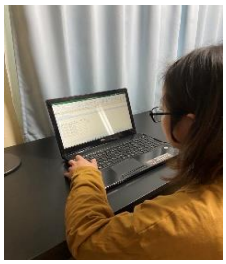
昨今の新型コロナウィルスの拡大に伴いない、弊社としても業務体制の見直し等を含めて検討した結果、密を避けるために在宅ワークの可能なものは在宅で仕事を行うと方向で検討をすることになった。また在宅ワークを取り入れることで通勤時間を省くことによって育児の時間も以前よりは取れるようになり仕事と家庭の両立に貢献できるようになると考えられる。

テレワークの実施概要

■実施期間
　令和3年10月25日
■これまでの実績
　テレワーク利用人数　4名
■テレワークを実施した部門、作業概要
　テレワーク導入部門は、各事業所の管理者、児童発達支援管理責任者が行っている。
　管理者は週1～2回の在宅ワークとWEB会議を行っている。作業としては常勤・非常勤職員等の労務管理業務等を行っている。
　児童発達支援管理責任者は、週1～2回の在宅ワークとWEB会議を行っていく。作業としては利用児童の支援計画の作成業務を行っている。今後は、保護者との面談もWEB会議で行っていければと考えている。
■使用したICTツール設置費用
　WEB会議ツールはまだ不明確なことも多いので無償のものを使用。
　購入は、ノートパソコン2台11万円×2台
■工夫したこと
　機材も全職員等に行き届いていないので、在宅ワーク者を絞り、その中でルールの確立等を確定できるように打ち合わせをして今後に向けての土台作りに時間を使った。

テレワークに関する社員の声

・職場と在宅とのやり取りがスムーズに行えるようになると効率が上がると感じた。
・まだ何ができてい何が難しいかがよくわからない部分もある。
・家事育児との時間調整がつけやすいところが良い。
・現状では、作業量を決めて行っているが、今後の適切な作業量も検討する必要があると感じた。
・実際にテレワークに参加していないが話を聞く限り、形が整えば将来とても良いのではと感じる。



テレワークの成果

・家庭と仕事の両立において在宅ワークは、通勤時間を省けることで時間を有効に使うことができる。
・基本的に対面して成り立つ福祉事業ではあるが、テレワークや在宅ワークでできることもあるという気付きになった。
・社内VPNへのリモートアクセスを対応することによってセキュリティー対策も講じた。

テレワーク実施に当たっての課題

・勤務時間等の管理の方法がまだ構築できていないのでこの辺りが就業規則も含めて整備をしていく必要がある。
・現状では管理業務中心の作業になるので管理する立場の者が不在になりやす事で現場への影響が出てくるのかが不透明である。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・今後は保護者との面談等に関してもZoom等のツールなどを用いて行くようになると移動時間等の縮小による作業効率のアップにつながっていくと感じる。
・現状では就業規則等の取り決めも確立できていない状態で在宅ワークするものしないものの中で不明瞭な点が多く利用しにくい点もあるが、その辺りが確立できることで安心して働きやすくなっていくと感じる。

有限会社ドリームプラン

所在地：旭川市9条通15丁目
連絡先：0166-25-0656

業種・事業概要

介護保険法に基づく、通所介護事業などを行っています。

従業員数

33名

資本金

300万円

テレワーク導入の経緯・目的

■新型コロナウイルス対策の一環として。
　業務上、重症化し易い高齢者と日常的に接する事から、デスクワーク等の事業所では無くても行える業務をテレワーク対応可能にする事により、少しでも接触を少なくする事で感染拡大の可能性を下げる為。
■働き方の改革
　多様な働き方の選択肢の一つとして、テレワークを導入する為。

テレワークの実施概要

■実施期間
　令和3年9月1日～

■これまでの実績
　実施する上での規程の整備と周知。現場業務との兼ね合いから週1回～を目安として実施。

■実施部門
　管理職及び事務職員等（事務作業等のデスクワークを行う者）

■導入したツール
　リモートアクセス対応のVPNルーター。社内VPNへの接続。リモートデスクトップ。ビデオチャットシステム導入、テレワーク用ノートPCの購入等。

■工夫したこと
　ミーティング・会議等のビデオチャットの積極的利用の推進。実施環境整備の為の、必要知識についての相談。テレワーク用のノートPCの貸与等。

テレワークに関する社員の声

・濃厚接触者となり出勤出来ない中、自宅で仕事が出来るのはとても助かった。

・時間の使い方に幅が出来て、仕事を効率良く行う事が出来ている。

・場所を選ばず仕事が出来るので良いと思う。

テレワークの成果

・新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症対策として、事業所内が密になる事を回避し、感染リスクを低下させる事に繋がっている。

・自宅待機となっても業務を行う事が出来る。

・ライフワークに合わせた働き方が出来る。

テレワーク実施に当たっての課題

・個々の自宅での環境が異なる事、個々人の知識の偏りにより、機器のトラブルや通信トラブルが多々ある。

・勤務状況や内容について、監視などは無く自己申告となっている為、事業所として把握し辛い。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・主に感染症対策としての導入となったが、働き方の一つとしてもテレワーク勤務を推進し、職員が多様な働き方をできる職場の魅力の一つとしていきたい。

・従業員間でもテレワークを通じてICTなどへの理解をより深め、業務環境を整えていきたい。

・テレワーク導入に伴い、相性の良いペーパレス化も推進したい。

有限会社FUTURE

所在地：旭川市10条通19丁目
連絡先：0166-73-8173

業種・事業概要

介護保険法における、訪問介護事業などを行っています。

従業員数

71名

資本金

300万円

テレワーク導入の経緯・目的

■新型コロナウイルス対策の一環として。
　業務の内容上、重症化し易い高齢者と日常的に接する事から、一部デスクワーク等の事業所では無くても行える業務をテレワーク対応可能にする事により、少しでも接触を少なくする為。
■働き方の改革
　勤務形態の選択肢の一つとして今後の為に整備。

テレワークの実施概要

■実施期間
　令和3年11月21日～
■これまでの実績
　実施する上での規程の整備と周知。週1回～程度を目安として実施。
■実施部門
　管理職（事務作業等のデスクワークを行う者）
■導入したツール
　リモートアクセス対応のVPNルーター。社内VPNへの接続。リモートデスクトップ。ビデオチャットシステム導入等。
■工夫したこと
　ミーティング・会議等のビデオチャットの積極的利用の推進。実施環境整備の為の、必要知識についての相談。テレワーク貸与用のノートPCの準備等。

テレワークに関する社員の声

◆テレワーク実施職員
・移動時間の短縮により、家庭の時間などに時間を使える事はとてもよかった。
・周囲からの話しかけなどがなく、集中して事務作業を行う事ができた。

◆その他の職員の声
・必要な連絡などは今まで通り電話やメールで行う事ができたので、管理者がテレワークでも困ることはなかった。

テレワークの成果

・管理者等としての仕事内容の見直しを意識することができた。

・テレワークで出来ること、事務所ではないと出来ない事の区別を意識し、限られた時間で効率的に作業することができたと思う。

テレワーク実施に当たっての課題

・貸出し用パソコンの数に限りがあり、基本は自宅のパソコンにテレワーク設定してもらう必要がある。これでは自宅にパソコンを持っていない人はテレワークが出来ない事がある。

・個人パソコンを業務に使うのは、セキュリティ面にも心配があると感じた。

テレワークの今後の活用法、期待すること

・デスクワークがある管理者などが全員テレワークを行えるよう、貸出し用パソコンなどの機材をもっと充実して欲しい。

・遠隔でも勤怠管理が出来るシステムを導入して欲しい。

株式会社ノースグリーン

所在地：旭川市宮下通り18丁目606番地5
連絡先：0166-73-3337

業種・事業概要

一般及び特定労働者派遣事業

従業員数

18名

資本金

2,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

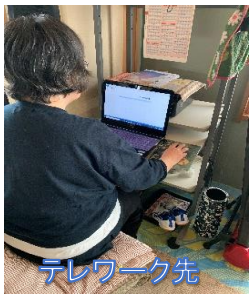
接触を防ぐ目的にてテレワークの実施を新たに計画
経理管理、人材管理など登録派遣社員の動向を管理及び給与計算にて実施

テレワークの実施概要

■実施期間：1/4より実施開始現在も進行中
■利用人数　テストにて実施しており現在1名にて検証
■実施部門、作業概要　時給計算　業務スケジュール管理
■Googleカレンダー、コミュニケーションツール（Slack）
■スマートフォン（Googleアカウント）共有などデータツール管理

テレワークに関する社員の声

情報管理を可能とすることで空き時間などを活用し業務を請負うことが
可能となったとの報告ありました。



テレワークの成果

通勤時間の削減　感染リスクの低減

テレワーク実施に当たっての課題

ICTツールに不慣れなため作業開始までに時間を要する。今後新たなツールの使用
を考えておりますが教育など必要かと思われます。

テレワークの今後の活用法、期待すること

できり限りの活用をすることで効率の良い業務遂行
無料ツールなどの拡大を期待としております